

研究・調査報告書

報告書番号	担当
3 5 5	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Predictors of heavy drinking and drinking problems over the first 4 years of marriage. 結婚 4 年後の大量飲酒や飲酒関連問題の発生を予測する因子	
執筆者	
Leonard KE, Homish GG.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Psychol Addict Behav. 2008 Mar;22(1):25-35.	
キーワード	
大量飲酒・飲酒関連問題・結婚	
<p>結婚前の飲酒状況、結婚前から存在する個人内変動が起こりにくい危険因子および予防因子、結婚前後に変化あるいは発生する可能性のある社会的対外的因子の情報を基に、結婚後数年以内の多量飲酒・飲酒関連問題の発生を予測する因子について検討した。</p> <p>新婚夫婦を対象に、結婚時点、1年目、2年目、4年目に大量飲酒および飲酒関連問題の頻度、成人の飲酒関連問題に関係があると考えられている因子について調べた。</p> <p>結婚時点の反社会的性格、アルコール依存症の家族歴、負の感情、アルコールに対する期待感情が新婚期の大量飲酒および飲酒関連問題の発生と関与していた。結婚相手の飲酒の有無、アルコールに対する社会的・身体的快楽についての期待感情が男女両性において結婚後の変化と関わっていた。更に、男女両性について、良い結婚が長期的に飲酒関連問題を抑制していたが、結婚の質と大量飲酒の発生とは関連がなかった。</p>	